

生協の現況 2022.3.1現在	
組合員	30,889人
出資金	15億4,636万円
一人平均	50,062円
2021年度増加	
組合員	986人
出資金	10,232万円



一人は万人のために万人は一人のために

2022年4月号

機関紙
東京ほくと



ほくとLINE
ほくとLINE
ほくとLINE

東京ほくと医療生活協同組合
住所 〒114-0003 東京都北区豊島3-4-15
発行「東京ほくと」編集委員会 TEL03(3913)9100
ホームページ <http://www.t-hokuto.coop>

楽しく「健康チャレンジ」

～変化の実感が継続の励みに～

自分なりの目標で習慣づける

昨年9月から11月、健康増進目的で開催した「健康チャレンジ」に地域組合員175人、職員108人の計283人が参加。日常的にとりこんでいる内容の継続

いきいき運動コース

複数のアプリ駆使して歩行は倍以上に、特典も



佐田八重子さん

昨年6月～11月まで、北区のウォーキングアプリ「あるきた」で毎日の歩数とGPSを利用して決められたコースなどを完歩すると、北区健康推進課の事業としてポイントが付与されました。そのポイントで応募して抽選で景品がもらえるという内容でした。

「あるきた」を始めたころは、毎日上限ポイントがもらえる8千歩を目標に、1万歩を歩く程度でした。半年以上経過した現在は、買物をする際に自転車と徒歩との調整をして、約2万歩を毎日歩けるようになりました。

最近「アミノステップ」という別のウォーキングアプリにも会員登録をしました。これは企業が運営する

続や新しい挑戦をするなど、自分に合ったコース設定で2か月がんばった皆さん。お疲れさまでした。今後も継続しましょう。達成した方の感想を紹介します。

生活改善サポートアプリでGoogle Fitという健康管理アプリと連動しています。歩数によりマイルが貯まり、ギフト券と交換できます。

これら3つのアプリは毎日の歩数記録のみでなく、日ごろの健康管理・促進・維持につながる便利な機能を持っています。皆さんもスマホアプリを上手に活用して健康維持につなげてみてはいかがでしょうか。

(赤羽西支部・佐田八重子)

健康的な食事コース

食事改善効果てきめん体は正直だと実感する



山手八重子さん

今回やってみて、減塩効果がありました。血圧降下はみられませんでした。朝食は一日のエネルギーになると思いますが、しっかり摂るように心がけてきました。

チャレンジ終了後、手抜き料理や生活のリズムが崩れると便秘になり、薬でスッキリの日も出てきました。体は正直ですね。

そして、コロナ禍にバンパー(ビリヤード)のゲームを楽しみ仲間と共に過ごせる幸せ。こんな素敵な70代を迎えられた健康な身体に感謝です。

(足立西部第2支部・小山慶子)

お口健康コース

口内炎が減り、減量もより良い歯磨きで健康

今までは外で食べたりすると、つい帰宅後の歯磨きを忘れがちでした。今回のチャレンジでは帰宅後の歯磨きを忘れないようにすること、歯ブラシ以外に歯間ブラシも使うことに挑戦しました。

まず、歯磨きの回数が増えたことで口の中がより清潔になった感じがして気分良く過ごせました。また歯間ブラシで小さな食べカスを取り除くことができたからか、今までできなかった口内炎も減ってきました。

私流「気ままな体操No.4」を朝と夕方にしています。

マイチャレンジコース

身近な観察で一日一句俳句で頭の体操と交流



若林ふさ子さん

自由に目標を決めて「一日一句」の俳句を詠む。10月から2か月間、句会の締切があるのでがんばろうと思えました。継続は力なりです。

2句、3句のときもありました。団地の木々や花のたくましさ、夜空や月の変化、毎日の食生活の野菜や果物を観ています。交流ができて、頭の体操となる5・7・5を楽しみたいです。

今がわたしの反抗期。刻む緑濃く今を生きてはうれし草

(王5団地支部・若林ふさ子)

王子生協病院は「無料低額診療」事業を行っています

医療費でお困りの方はご相談ください

☎ 3912-2201

注射器

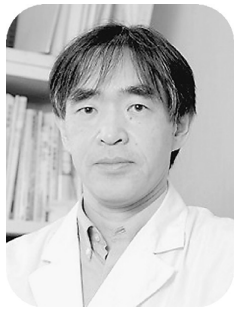
女の子が美容院へ行くとき「〇〇中カットですね」と言われるという。頭髮・制服のひざ丈・靴下の色や生活行動規制などを学校が決めて、子どもに守らせているのが校則。今、その校則を見直す動きが広がっています▼見直しにあたって大事なことは「それは子どもたちが人間的に成長・発達することとどんな関係があるのか」を問い続けることだと思えます。あれをしない、これをしないといわれることは、自分で考える力を奪ってしまいます。生活の仕方を自分で選ぶ機会を、考える力を育てます。さらにそれを協同・協力し合っ

て何かを成しとげる成功体験こそ、成長発達の根幹です▼校則が見直されにくく時代に合わなくなってしまうのは、まず教師が忙しすぎることに。教師の中に校内暴力時代の印象が強く「規則や制服はあった方が生徒をまとめやすい」という意識が強い人たちがいます▼今、子どもたちはどんな思いで学校に通っているのか。先生たちはどんな思いで毎日生徒たちとかわかっているのか。親はどんな思いで子どもたちを送り出しているのか。この三者が集まって校則を協議する学校が増えることが望まれます▼ブラック校則から、子どもの人権が守られる校則へと広がってほしい。世田谷区のある中学校が校長の英断で校則・制服を無くした子どもたちに乱れはなく、学業成績もぐんぐん上がっていると報道されています。(昭)

理事会だより 3月26日

理事長あいさつ

今泉 貴雄



感染者減でも油断なく
前回ピーク同様の状況

桜の開花が先日あり、暖かい日も出てきました。春は、やはり心うきうきする季節です。

コロナ感染症が広がる中、3回目の春になります。第6波はピークも過ぎたようで、まん延防止等重点措置も終わりました。

まだ東京では一日数千人の感染者が発生していて、昨年夏に医療崩壊も叫ばれた第5波のピークのとときとあまり変わりません。引き続き感染対策の必要があります。

人間関係構築にも影響
新しい価値観で対応を

様々な自粛や制限が続い

ています。多くの方にストレスが生じ、今までどおりが通用せず、新たな問題が起きています。

私たちの職場でもほぼマスクを外すことがなく、ほとんど素顔を知る機会がありませんし、歓送迎会も開いていません。今まで以上に人間関係の構築が困難になっていると思います。

新たな変異株出現も懸念されて、まだコロナ感染症が続くと考えねばなりません。ただ、ワクチン接種が広がり、治療薬が出るなど医学の確実な進歩があるのも事実です。そのことに希望を持ちつつ、新しい価値観で前出の問題解決をめざす必要があります。

平和と自由奪うロシア
非難に値する軍事侵攻

2月末に、ロシアのウクライナ侵略。昨年末から可能性を指摘されていましたが、実行されたニュースに驚きました。

この侵略は平和を維持したい世界中の人々の願いを踏みにじり、まるで第二次

世界大戦の時代に逆行するような事件です。決して許されることのない蛮行です。多くの国の非難があるにも関わらず、侵略が続いて多くの人が亡くなっています。その中には兵士だけでなく、市民、子どもが含まれ、強い憤りを感じます。

ロシア国内では、為政者が自由な言論を弾圧して都合のいい情報を流し続け、世論をコントロールしようとしています。このことも時代の逆行で、ロシアはまだまだ私たちと同じような自由が確立されていない社会なのでしょう。この戦争を通じて、改めて平和、自由について考えさせられます。

大地震で被害が発生
備えておく必要あり

また、3月半ばに再び大きな地震がありました。震源に近い東北では亡くなった方もいて、建物や壊れた交通網の被害も生じました。関東地方では大きな被害が無かったとはいえ、地域によっては停電が生じました。改めて震災への備えの必要を感じた次第です。

2021年度も終わります。今年度もコロナで終始

《理事会議事録要旨》

報告事項

①2月組織活動報告・加入65人、脱退72人、出資金増資520万円、増資者672人、班会開催5回、新班結成0班、2項組合員0人。便チェック月間。3/23荒川ラインウォーキング、53人参加。ロシアのウクライナ軍事侵略反対行動喚起。4/30職員対象憲法学習会。②2月決算報告。③都の生協検査への改善報告。④生協北診療所建替推進委員会報告。⑤処遇改善支援事業にかかる手当新設と対象外職員への期末手当支給、および在宅時間外電話応対手当新設の報告。⑥「第1号議案 2021年度活動のまとめ」「第2号議案 2022年度活動方針」協議。⑦2022年度予算案報告。⑧組織活動、委員会活動、事業所報告。⑨医療福祉生協連・全日本民医連・東京民医連理事会報告。⑩4/30東京はくと憲法学習会開催案内。⑪浮間地域の住民要求によるコミュニティバス開通を報告。

議決事項

新たなVPN(通信網)構築による法人内セキュリティ対策の件
以上、議決した。

知って連携・まちづくり
制度や現状を共有、議論

北区タウンミーティング

長引くコロナ禍で、支援を必要としている人々がますます増えています。「まずはまわりの実情を知り、私たちにできることを見つけよう」というテーマで、2月26日に第1回目の北区まちづくりタウンミーティングがオンラインで開催されました。8生協から41人(うち東京はくとから10人)、行政2人、社会福祉協議会

5人、4活動団体5人の計53人が参加しました。

初めに北区生活福祉課、子ども未来課、社会福祉協議会生活困窮者自立支援係から、現在運用されている制度や事例の紹介がありました。次に北区子ども食堂ネットワークの坪井美和さん、我妻澄江さんが、地域で食を支えるとりくみについて、コロナ禍での変化も

した感があります。コロナ対応で収益増でしたが、経営的には根本的改善を行ったわけではありません。

コロナ後に向け、本来なら改善の道筋について考えていく一年でした。それができていないことは肝に銘じておく必要があります。

次年度はその事実を見据えた対応が求められます。

新年度のスタートで新たな職員を迎え入れます。生協活動の担い手として成長するよう、組合員の皆さんにはご支援、ご指導をお願いします。私たち職員も節目として新たな気持ちで仕事に打ち込んでいきます。

90代女性、長年ひとり暮らしです。自ら動けず、寝返りもできません。なにかあっても、電話やボタンを押して訴えることや発信することもできません。

医療と介護の現場

ラジオで生活が変化
覚醒時間延び、話も



眠る時間が長く、一日2回ケアの時間で覚醒のタイミングが合わない、水分も十分にとることができません。私たちは週2回訪問をしていましたが、幸か不幸か床ずれができてしまい処置が必要になったので、医療保険で連日訪問できるようにになりました。

訪問をする声かけに目はいドアを閉めた音が響くくらいしかありません。そんな場合は返せるのだろうか、と気になりました。専門の相談員が配置されていても、救済につながるのを困難にしている事例や「社会の生きづらさ」からひきこもってしまった例などが話されました。

含めて報告をしました。後半は参加団体やまちづくりメンバー、北区で活動する生協組合員が、自分のまわりで気になっていること、今後自分にできそうなことをグループに分かれて話し合いました。他の参加者も発言していましたが、私も「知らないこと、見えていないこと」がたくさんあると気づきました。

生活保護制度とそれに続く生活困窮者自立支援制度、さらにコロナ禍によって困窮した人への自立支援。そして、ひとり親家庭への相談支援事業、介護、

ひきこもり支援など。「給付」はともかく「貸付」



干



(上から)上田文子さん(社協)、坪井さん、我妻さん



高橋 哲さん

番外編

ジェンダー平等を意識家事から社会を捉える

(1面より続く)

マイチャレンジは、ジェンダー平等を意識した、妻の家事全般体験です。なかなか大変でした。

差別問題で世代的責任を感じつつ向後、男・女の「らしさ」が死語になるでしょうか。少し心配です。さて高齢者がピークを迎えて、社会の景色が一変。おかげさまで健康で「長生きing」状態を保って、私は元気にしています。

(神谷支部・高橋哲)

◎王子生協病院は、個室も含め全室差額ベッド料はいただいております。

⑧なんでも相談会（荒川区、北区、足立区）に積極的に参加します。
なんでも相談事例検討会に参加します。

(5)機関紙

①若年層から高齢者まで、東京ほくと事業所を利用しない方や非組合員も含めた幅広い層を意識した紙面づくりを行い、発信します。定番コーナーや職員の個性が垣間見える記事なども大切にしながら、新しい情報も積極的に紹介して、組合員獲得ツールとしても貢献します。コロナ禍で、健康づくりに関する情報を意識的に多く取り上げます。

②HPH、SDH※5、SDGsに関して、先駆的な学びや提起を積極的に行うツールとします。HPH委員会と連携するほか、SDHに関する情報提供、SDGsの継続学習を行います。

③職員も組合員であると自覚し、地域組合員と共に考えるための材料として機関紙を活用してもらうような内容にします。

④機関紙のホームページ掲載で見やすさを追求します。読み上げ機能追加を検討し、視覚障害者や高齢者の読者に対応を試みます。

⑤モニター制度に挑戦し、無作為の読者の率直な意見をより良い紙面づくりに活かします。



3 患者、利用者に親切で安心のサービスを提供

新型コロナ感染対策を徹底し、職員、患者・利用者、組合員のいのちをまもり、地域の医療・介護をまもるとりくみをすすめます。

①東京ほくとの在宅医療活動を強化します。パンフレットやホームページを活用し、紹介増を試みます。

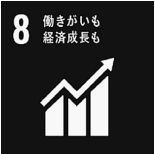
②各事業所の医事業務を見直し、業務改善によって経営を支える医事の質向上をめざします。

③家庭医の機能を活かした外来診療を、病院・診療所の双方ですすめます。

④診療所での無料低額診療事業の実現をめざします。

⑤歯科では口腔機能低下の早期発見、早期介入に努めます。

⑥介護職員の確保に努め、介護事業の今後の展望づくりをすすめます。



4 地域組合員と職員組合員の育ちあいの人づくり

①第3次中期計画の育成方針「東京ほくとがめざす職員像」を目標に、学びをすすめます。貧困格差が拡大するコロナ禍で、身近な事例から社会の問題を学び、生協活動につなげる視点を養います。

②制度教育は一般職員対象の「SDGs研修」「ジェンダー研修」、管理者・役職者対象の「アンガーマネジメント研修」を行います。

③通信教育へ積極的に参加します。地域組合員と職員組合員の共同の学習会企画を行います。



5 働きやすい職場づくりと人づくり・後継者確保

東京ほくとの職員として「誰のために」「何のために」を共有しながら、やりがいを持って育ち合える環境づくりをします。

①HPHの学習、地域活動に積極的に参加します。事例検討を重視し、研究交流会などで発信していきます。

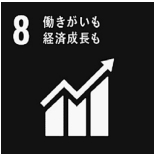
②コロナ禍のメンタルヘルス、職員面談、相談活動をすすめます。

③業務の効率化、見直しで残業削減にとりくみます。

④多様性を認め合う働きやすい環境をめざします。

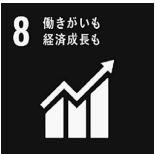
⑤事業所内、法人内外での多職種連携を強化します。

<後継者確保の目標>
医師：初期研修医2人、後期研修医2人、既卒2人／歯科医：既卒1人、23年度研修医1人／看護師：新卒8人、既卒5人／リハビリ：5人／介護職：既卒10人／病院介護職：新卒2人／事務：3人



6 経営課題

今後、東京ほくとの事業所は生協北診療所以外にも建て替え検討を必要とする事業所があります。これら大型投資のための準備資金のほか、2025年からは一昨年コロナ緊急融資として借り入れた福祉医療機構6億円の返済が始まります。そして定年退職者の多い世代が到来する際の退職金など、今まで以上の支出額が予想されます。全事業所を継続して職員の労働条件を維持するためには、コロナ補助金に頼らずに必要な利益の確保、つまり最低でも現預金を減らさない経営活動が求められます。また



上記大型投資を目論むためには、さらに準備資金を蓄えられる経営努力が必要です。

①2022年度の経常利益は目標8千万円とします。

②今後10年間の必要利益目標（年平均1億2千5百万円）に早期に到達するための事業活動も含めて、経営構造の転換を図ります。

③部門別損益、月中の予算管理など経営マネジメント力を高めます。

④出資金（資産）を増加するために、引き続き組合債券（負債）を出資金へ振り替えることをすすめます。

7 生協組織の拡大強化の課題

新型コロナ感染対策パンフレットを活用して、以下にとりくみます。

①担い手づくり・運営委員づくりを最重点目標とします。

②支部活動を活性化させるためにも、担い手と運営委員を合わせて150人をめざします。

③仲間増やし1,500人／増資1億5,000万円／新班70班／班会開催1,000回以上をめざします。

④担い手・運営委員の地運・支部目標を決め、月ごとの目標に沿ってとりくみます。

- ・「担い手さん紹介月間のキャンペーン」を行います
- ・事業所職員や支部、地運を超えた紹介活動をすすめます
- ・定例支部ニュース、支部合同ニュースの発行と手配り募集のチラシ発行をすすめます
- ・新型コロナ感染拡大中は健康づくり、学習のオンライン企画を準備します。支部ごとにウェブ環境を改善します

⑤ネット・SNSを活用した活動をさらにすすめ、多世代が参加する活動にします。

⑥支部分割による新支部づくりをすすめ、存続が厳しい支部への対応を検討します。

⑦運営にかかわる組合員の研修を準備します。

⑧SDGsに事業所と地域でとりくみます。気候変動対策を推進する東京ほくとのプロジェクトとジェンダー平等社会の実現にむけた学習や連帯行動にとりくみます。

⑨組合員が安心して人生の終末について考え、尊厳を持って人生を全うすることについての学習を、倫理委員会と共同ですすめます。



8 おわりに

感染症、気候変動、戦争、専制政治、民主主義の危機など、不透明な時代、不安感の募る時代に見えます。この社会を一人もとりのこされない社会にしていくことは、壮大な挑戦のようにも思えます。しかし、その扉を開くのは私たち一人ひとりの力であり、憲法にも書かれている「不断の努力」です。大きな課題ですがみんなの力を寄せて、元気よくすすんでいきましょう。

【用語解説】

※1：SDGs（Sustainable Development Goals）
2015年9月に国連が採択した「持続可能な開発目標」。2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット、およびその進展を評価するための指標を持つ、包括的な目標。「世界の貧困をなくす」「持続可能な世界を実現する」ことをめざします。

※2：HPH（Health Promoting Hospitals & Health Services）
WHOの宣言に基づき、1991年欧州で制度が開始されました。医療機関が医療の質と地域や環境を改善し、患者と家族、スタッフの満足度を向上させることを目的としたものです。HPHが働きかける対象は、患者と家族（特に弱い立場の人々）、病院スタッフ、地域住民と社会環境です。

※3：生協活動5つの基本
▶①マスクの着用と消毒、②間隔を空ける、③換気、④体温測定、⑤食事、カラオケの中止

※4：担い手
機関紙配布を担当する方

※5：SDH（Social Determinants of Health）
健康の社会的決定要因。本人の責任ではなく、生まれた社会環境によって健康格差が生まれます。このような健康格差を生み出す政治的、社会的、経済的要因のことです。

- ・班会：班会開催228回、新班結成6班、班会参加者1,514人
- ・健康チェック3,945回（昨年5,566回）

【資料：2021年度の特徴的な活動】

1. つながりづくり	2. たすけあいの活動	3. コロナ禍での新たな活動
地域でミニスマホ教室	なんでも相談会	野外運営委員会
支部LINEグループの活動	3区での防災学習会	歌は禁止でも音楽を楽しみたい（ハンドベル班会）
お元気ですかハガキ	ワクチン予約支援	オンライン事例検討会
お元気ですかコール	子ども食堂	事業所利用委員会アンケート実施
お元気ですかアンケート	子ども学習支援	オンライン北区高齢者集会
コロナ禍での回覧板&交換日記	ささえあいシート	ほくとLINE
高齢者訪問活動	赤羽フードバンクの取り組み	21日間の体操プログラム、ウィークエンド脳トレLINE発信
新規加入者訪問活動	感染拡大での病室カーテンづくり	ウォーキング月間
担い手さん募集チラシ	無料低額診療事業	健康と平和のための戦跡ウォーキング企画
	お助け隊（北足立）の活動など の高齢者の生活支援（買物、見 守り活動）	SDGs 機関紙連載
	命・くらしを守る「浮間コミュニ ティーバスの実現のとりくみ」	ハガキ署名全戸配布
		これからの生協活動〈afterコロナ &withコロナ〉ハンドブックの作成 ・学習
		オンラインを利用してピースアクシ ョン

2022年度活動方針(案)

2022年度の3つの柱(テーマ)

- コロナ感染症の拡大に対して、地域の医療・介護をまもり、組合活動をすすめよう
- いのちの尊厳と人権が大切にされる社会、社会保障制度の充実を
- 医療生協の活動を若い世代にも広げよう、担い手をふやし、人と人のつながりを大切に、安心してらせるまちづくりを
- 憲法9条改憲ストップ・核兵器廃絶で世界と日本の平和をめざそう

1 情勢と私たちの課題

①今日の情勢は、東京ほくとの掲げる理念とそれに基づく活動の意義を一層際立たせています。戦争をなくし、平和を守り、いのちの尊厳と人権が大切にされる社会を築くことが切実な問題として私たちの前にあります。

②2月24日、ロシアのプーチン大統領は無法なウクライナ侵略を開始しました。3月2日の国連総会緊急特別会合で、加盟国7割超の141か国という圧倒的多数の賛成で軍事行動の中止を求める非難決議が採択されました。国連憲章と国際法を踏みにじるロシアの暴挙を止めるために、世界の多くの国と市民社会が力を合わせることを求められています。

③ロシアによる核兵器の使用も取りざたされ、人類全体に破滅的結果をもたらしかねません。世界の流れは、核兵器禁止条約が発効されるなど国際法で違法化される時代です。逆行を許さず、被爆国としてこの条約を批准することこそ今すすむべき道です。

④憲法に自衛隊を明記する改憲の動きがあり、戦争への道です。憲法9条を守る運動をすすめてきた力をさらに大きくしていきましょう。

⑤新型コロナウイルス感染拡大で医療崩壊となり「いのちの尊厳」がないがしろにされる事態となっています。新自由主義で社会保障削減を推し進めた結果、日本の医療・介護・保健は感染症拡大に対応できない脆弱なものになりました。沖縄をはじめ米軍基地周辺でクラスターが発生、米軍兵士は日本入国時に検査せず、帰国時は検査をする実態が明らかになりました。沖縄・辺野古基地建設や「おもいやり予算」などにつながる、国際的にも異常な日本とアメリカの関係が露呈しています。

⑥格差と貧困はコロナ禍で一層広がり、富裕層の資産が9兆円から24兆円になる一方、労働者の実質賃金は減少し、非正規雇用が増加。コロナ禍で女性の生活困窮者が急増し、自殺者も増えています。大規模災害と同様に、感染拡大により社会的弱者に被害が集中しています。

⑦毎年、大規模な豪雨被害が世界で起きています。2021年10月に開催した第26回気候変動枠組条約締結国会議（COP26）では、2050年までに世界の温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることが明示されました。また2030年までの10年間が決定的に重要である点が確認されました。日本は石炭火力への依存は高い一方、脱炭素を口実に老朽原発の再稼働を目論んでおり、抜本的転換が求められます。

稼働を目論んでおり、抜本的転換が求められます。

⑧コロナ禍で社会が抱える問題が浮き彫りになり、社会のあり方を大きく変えていくことがより切実になっています。今年は7月に参議院選挙があります。選挙も大きな力になります。平和と人権、公正、ジェンダー平等の社会をつくる機会です。

2 困ったときに助け合える、健康なまちづくり

(1) 感染対策を重視し、災害に強く、多様な人々が参加し支えあう、組合員活動

新型コロナに感染しない・させないために「東京ほくと医療生協：5つの基本」を重視し、生協活動を行います。

①2022年度は以下の4つの課題を重視し、組合員活動にとりくみます。

・地域の様々な団体や多世代とつながり、新しい担い手を増やします

・創意工夫で多様な生協活動にします

・組合員、職員、他団体と連携して、暮らしの困りごとに対応します

・コロナ禍も災害に強い安心・安全のとりくみや健康づくりをすすめます

②行政、諸団体とも連携を取り、災害時などのたすけあい（避難の声かけなど）ができるよう、日ごろから顔の見えるつながりづくり、みまもり活動をすすめます。SDGsのとりくみを組合員、事業所と地域ですすめます。東京ほくと気候変動対策推進プロジェクト委員会（仮称）を立ち上げて地球温暖化をストップさせる運動と、ジェンダー平等社会の実現にむけた学習や連帯行動を行います。

(2) 健康なまちづくり

フレイル予防を中心に、楽しく健康づくりをします。

①スクエアステップ、ウォーキング、脳トレ、お口の体操、すこしおのとりくみを引き続き推進していきます。健康チャレンジ、荒川ラインウォーキングを企画します。

②非接触型の健康チェックを周知、推進します。

③健康に関する学習会を年2回オンラインで実施し、配信していきます。

④健康づくりの担い手をひろげるために、新しい層をターゲットにした企画を検討します。

⑤健康診断は、ニーズ（内容、かかりやすさなど）について職員・組合員で懇談を行います。「お元気ですかコール」など共同した働きかけをすすめます。

(3) たすけあい活動とかかりやすい事業所づくり

【たすけあい活動】

①感染対策を継続して、安心して参加できる班会・サロン活動をします。

②オンラインを活用し、若い世代への発信、新たなつながりづくりを模索します。

③オンライン会議や学習会を広く利用できるような環境設定を検討します。

④ささえあい依頼書の周知をすすめ、積極的に活用します。

⑤子ども食堂やロコクラブ（学習支援）の継続とともに、他地域でも新たなとりくみを模索します。

⑥3区のまちづくり委員会（東京都生協連主催）を基盤に、購買生協、社会福祉協議会、自治体などとさらにつながりを強めます。

【かかりやすい事業所づくり】

①コロナ禍で来所頻度が少なくなった患者・利用者の意見収集、よりよい事業所づくりへの提言の議論を継続します。

②法人内外の事業所視察はあり方を検討します。

③ホームページの充実、歯科運営委員会は継続課題とします。患者・利用者満足度アンケートはとりくみ方を検討します。

(4) くらしと社会保障・平和をまもる

①社会保障の充実、いのち・平和を守る署名運動を行います。

②自治体交渉の要請書準備に参加するほか、医療・介護現場の実態や地域の困窮について学びます。

③戦跡ウォーキングを今年も開催します。

④「戦争させない・9条壊すな総がかり行動」、憲法をまもる集会、全国や地元の集会に参加します。

⑤日本高齢者大会in京都、地域の高齢期運動にとりくみます。

⑥2022ピースアクションinヒロシマ・ナガサキと原水禁世界大会・平和大行進に、組合員・職員が協力して参加します。核兵器禁止条約の批准を日本政府に求める運動や核兵器廃絶運動に幅広くとりくみます。

⑦国会行動（医団連、民医連、中央社保協）や地元の社保協などに結集し、自治体交渉・懇談へ参加します。



をオンライン開催し、女性・高齢者の困窮の事例にしぼり、実行委員会団体14人が学びました。

(5) 機関紙について

①「ひとこと通信」投稿者からも読者の広がりがあります。ホームページから閲覧する方、親族や友人に送る方、生協コーナーの新聞の利用と、配達先以外の方にも読まれています。

②SDGsの全項目について多方面の寄稿者によるバラエティに富んだ記事を連載し、継続的な学びになりました。HPH※2委員会作成の健康情報を掲載し、読者からも続載の要望が寄せられています。

③職員の反応は良く、機関紙が職場や支部の学習で活用されました。

④紙面の工夫をこらしました。新年号の見開きのちぎり絵カレンダーは特に好評でした。

⑤視覚障害者へ対応する読み上げ機能の表示を試みましたが、実現できませんでした。

3 親切で安心なサービスの提供(事業活動)

①在宅医療推進のため、他法人からの在宅患者紹介窓口を地域連携室に増設し、各事業所間での調整システムを開始しました。在宅医療パンフレットを作成し、近隣の紹介元医療機関に配付を始めました。

②患者満足度アンケートを歯科・介護事業所・王子生協病院で実施しました。コロナ感染拡大により、事業所利用委員会が開催できない院所が多く、「虹の箱」を活用することができませんでした。

③生協北診療所リニューアルに向けて、当初計画されていた現地建て替えに加えて、移転なども含めた様々な可能性を事務局で調査し、地域理事や診療所役職者との懇談を重ねました。2月に建設推進委員会を発足し、具体的な検討を開始しました。

④気候変動が深刻化している中で、自然災害などの緊急事態が発生した際に東京はくとの損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための「事業継続計画」の策定を、介護事業所・診療所ですすめました。

⑤診療所の女性外来の料金設定を見直し、困っている人が相談や診療につながりやすい環境づくりを行いました。



コロナワクチン接種受付（王子生協病院）

4 地域組合員と職員組合員の育ちあい

①制度教育

- 1) 新入職員研修は感染対策をして集合形式で行いました。1年目対象のフォローアップ研修、2年目対象の倫理研修(12人)を実施しました。
- 2) 「実践的」と好評だった接遇研修には累計225人が参加しました。
- 3) 全職員対象のSDGs研修会は感染拡大のため2回の実施でした。
- 4) 管理者・役職者対象アングーマネジメント研修に43人参加しました。

②全日本民医連が提起した人権Café学習に関連して、職場や委員会・研修会で学習会を行いました。北中ブロックの企画にも参加、東京民医連「私の気づき」に8人が応募しました。

③通信教育は職員・組合員29人が参加しました。

④倫理委員会主催のアドバンス・ケア・プランニング学習会を行い、22人が参加しました。



アドバンス・ケア・プランニング学習会

5 働きやすい職場づくりと人材育成・後継者確保

①コロナ禍におけるメンタルヘルス対策として、法人全体のストレスチェックを実施しました。

②多様性を認め合える働きやすい環境をめざして法人全体でジェンダーアンケートを実施し、406件回収しました。

③妊活や子育て・介護の支援など、制度検討、ワークライフ検討委員会には着手できていません。

<後継者確保の実績>

医師：初期研修医1人、後期研修医2人、既卒2人／看護師：新卒6人、既卒2人／リハビリ：新卒1人／介護職：既卒非常勤9人／事務：新卒2人、既卒2人

6 経営課題

以下、決算数値はすべて2021年12月31日現在の見込みです。

①事業収益は49億円、予算に対し約1億円の未達です。コロナ病床確保による入院稼働の減少と、透析管理件数の予算不足が特に影響しました。PCR検査委託費が大きく予算超過したため、事業費用全体で約2千万円予算超過となりました。ただし、王子生協病院のコロナ病床確保などコロナ補助金約2億円が見込まれるため、結果的に経常損益は9千3百万円の利益(黒字)、税引き後も昨年末計上のコロナ補助金加わることから、当期利益は約1億円となりました。

②事業キャッシュ(上記経営活動により生み出された資金)は約4億円。ここから医療機器の購入や建物修繕などの支出約1億1千5百万円と、銀行返済や組合員債券解約また出資金の減資脱退などの支出約2億1千5百万円を支払うと、事業キャッシュは7千万円残ります。この事業キャッシュの残高7千万円は、次年度以降の大型設備投資や2025年から始まる福祉医療機構返済、また職員・職場に対する例えば福利厚生改善などへの準備金となります。

③現預金残高は、上記事業キャッシュ残高7千万円を加えると5億4千4百万円(ただし、このうち2億6千万円は福祉医療機構からの借入金)になり、月商倍率は1.30(目安1.0以上)なので、借入など急な資金対策の心配はありません。コロナ補助金によるところは大きいですが、年間を通して組合員・職員の感染対策をしながらの医療・介護・組合員活動の奮闘の結果です。

④純資産(過去から累積した経営成績と出資金残高などの合計)は2億3千8百万円で、期首より1億2千4百万円改善させましたが、その自己資本比率は3.8%(目安10%以上)とまだまだ低い状況です。また、この残高では生協北診療所建て替え時に債務超過となると見込まれます。

⑤コロナ前の長期経営計画から改めて、福祉医療機構返済と生協北診療所建て替えも含めた長期経営計画を作成するため、検討委員会を今期中に開始しました。また本計画の裏づけとなる事業所ごとに、長期経営計画の作成に着手し始めました。

⑥診療所経営検討会を2回行いました。各診療所の事務長と師長が出席し、4月にそれぞれの課題(経営、稼働、体制、地域など)を確認・共有し、必要利益を達成させるためのアクションプランを作成しました。9月には到達状況と振り返り、課題克服に向け本部と各診療所で下期のとりくみを共有しました。

⑦純資産対策として、債券(債務)の満期償還案内時に出資金(純資産)へ振り替えていただく呼びかけを行い、1千8百万円を協力いただきました。

⑧法人の合同管理者会議を開催、課題の整理と共有をしました。

7 生協組織の拡大・強化

①2021年度は第4波、第5波の影響で、1月から9月まで生協活動の自粛・中止を余儀なくされました。理事会、専門委員会はオンライン開催とし、室内での地域運営委員会、支部運営委員会、サロン・班会は基本として中止しました。感染予防しながら少人数での野外活動を実施しました。総代会はオンラインとし、新入職員のメッセージ動画を放送しました。交換日記で支部メンバーの近況確認を行う支部がありました。お元気ですかコール、ハガキが多くの支部でとりくまれました。支部でミニスマホ教室が開催されました。歌声・カラオケができないので、ハンドベル班会が立ち上がりました。夏から始まったワクチン接種の予約支援が、多くの支部でとりくまれました。室内で班会・サロンができない間は青空体操、ウォーキングなどが盛んに企画されました。

②組織部が「生協活動の5つの基本」※3パンフを全支部に配付し、東京はくとかから感染者を出さないよう努めました。通達発行やLINE・ホームページで、感染対策の情報を発信しました。

③生協強化月間の増資は、昨年度を上回る成果でした。年度後半は、東京はくとの最重要課題を「担い手※4・運営委員づくり」にしぼり具体的な討議をすすめました。

④4課題の状況(2/28現在)

- ・組合員：加入986人(前年比▲38人)、脱退997人、純増▲11人
- ・出資金：増資1億202万円(前年比▲489万円)、減資8,728万円、純増1,503万円、増資者2,365人(昨年比▲279人)、増資者のべ9,389人(昨年比▲10,052人)



交換日記・ノート

第82回 総代会

東京ほくと医療生活協同組合 ダイジェスト版

2021年度活動のまとめ 2022年度方針(案)

はじめに

2月に起きたロシアのウクライナ侵略は、世界中に大きな衝撃となりました。この時代に国家間の大規模な戦争が起き、核攻撃も取りざたされています。戦争を避けるために世界が知恵を集めてきた努力が、水泡に帰す行為です。

日本国憲法は前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し」としています。「侵略戦争をやめろ」の声を一層強め、人類史の逆行をくい止めましょう。

2022年3月時点で新型コロナウイルスの感染者は580万人を超え、犠牲者数は2.6万人以上と、東日本大震災を超える大災害です。病床削減、保健所の統廃合が、医療崩壊を招いたことは明らかです。

国民のいのちを第一としない政治姿勢が問われています。「人権」を軸にした、誰もとのこさない社会をめざす医療福祉生協の役割が一層大きくなっていることを確認しながら、力をあわせて新しい活動をつくっていきましょう。

2021年度活動のまとめ

1 感染拡大の中で地域の医療・介護を まもり、生協活動を創造してきた一年

2022年1月以降の第6波では一日あたりの都内陽性者数が2万人に迫りました。入院先が見つからない・保健所からの連絡がない・必要な医療が受けられない・在宅で亡くなるなど、皆保険制度の国であってはならない事態が起き、医療・介護崩壊の状況でした。

感染拡大が続く中で、東京ほくとは「職員・地域住民の健康を守ること」を基本方針に、感染予防対策を徹底しながら事業所の活動を進めてきました。学校、保育園、家族内での感染が広がり、職員にも陽性者、濃厚接触者が発生して職場の体制が大変厳しくなりました。職員は感染対策をとり、地域の医療・介護を守って奮闘しました。

王子生協病院は2021年8月より陽性者の入院病床を12床に拡大。多い月は40人に迫る陽性者を受け入れました。発熱外来、訪問診療、健康観察など、陽性者への医療・介護サービス提供に、すべての事業所が尽力しました。

ワクチン接種を開始すると、組合員による予約登録の助けあいも行われました。組合員活動は大きく制限されましたが、感染対策をしながら、オンライン活用などコロナ禍での活動を模索してきました。



王子生協病院でのコロナ入院患者対応

2 困ったときに助け合える、 健康なまちづくり

(1) 災害に強く、多様な組合員が参加し支えあう

①東京ほくとで初めて、3区担当者から学ぶ防災学習会「コロナ禍の自然災害時の避難と対策」をオンライン併用で開催、3会場でのべ52人が参加しました。行政職員の講義は地域の実情に沿った防災施策のため、多くの参加者から高い評価を得ました。災害対策だけでなく、生協のたすけあいのつながりづくりを考えるきっかけにもなりました。

②支部ごとのSDGs※1にとりくむ抱負を、機関紙新年号に掲載しました。

③未来を担う世代とともに地球温暖化をストップさせるため、気候変動対策を推進する東京ほくとのプロジェクトを準備中です。

④新型コロナ感染拡大の中でも多くの方が交流するよう、ネット活用をすすめました。ほくとLINEは現在330人が登録し、この1年間で約100人登録者が増えました。ミニスマホ教室も支部で開催が始まりました。7支部がし



コロナ禍の防災学習会 足立会場

LINEグループを立ち上げ、新たなコミュニケーションツールとして多くの組合員が活用しています。

(2) 健康なまちづくり

コロナ禍で組合員活動が制限される中、屋外やインターネットを活用したフレイル予防をすすめました。

①LINEを活用して「21日間体操プログラム」動画、脳トレ出題、コロナワクチン学習会など情報発信を行いました。

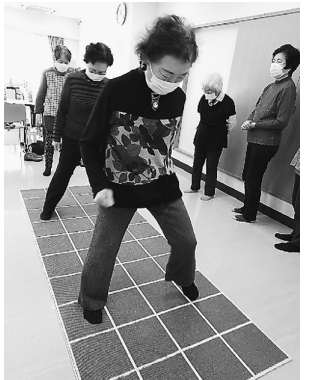
②認定講師の指導でスクエアステップ体験会が広がりました。

③ウォーキング月間で歩いたコースを、機関紙や「元気もりもりニュース」で紹介しました。ウォーキング班会が活発で、3月23日には第8回荒川ラインウォーキングを開催しました(参加者53人)。

④健康チェック項目に体温チェックを加え、血圧チェックの感染対策基準を作成しました。非接触型チェックについては「椅子立ち上がりテスト」「嚥下テスト」「脳トレ」の3つを作成しました。

⑤健康チャレンジは組合員175人、職員108人、キッズ8人の合計291人が参加し、前年度より42人増加しました。

⑥健康診断受診率アップには一部地域で「お元気ですかコール」が行われました。



スクエアステップ班会

(3) たすけあい活動とかかりやすい事業所づくり

【たすけあい】

感染対策を徹底して、活動の場を屋外も含め模索しながら班会・サロン活動を行いました。子ども食堂としま虹は弁当配布形式で、学習支援ロコクラブも工夫して継続しています。ささえあい依頼書の活用は、今後も課題です。東京都生協連主催の3区のまちづくり委員会に参加し、購買生協とのつながりづくり、生協間連携に努めました。

【かかりやすい事業所づくり】

コロナ禍で来所頻度が少なくなった患者・利用者の意見収集、よりよい事業所づくりの提言は、議論不十分でした。ホームページの充実、満足度アンケート、歯科運営委員会は継続課題です。法人内外の事業所視察は感染拡大で計画を見合わせました。



学習支援ロコクラブメンバー

(4) くらしと社会保障・平和をまもる

①社会保障の充実や平和を守る運動を行いました。いのちの署名運動は、職員と組合員がハガキ署名を全戸配布するなどして、1900筆の到達です。

②自治体交渉の要請書づくりを通じて、コロナ禍での医療と介護現場の実態、高すぎる国保料や地域の困窮について学びました。

③北区戦跡ウォーキングを2回開催しました。のべ26人が参加、戦争の歴史が身近に感じられました。

④日本高齢者大会in長野には地域の高齢期運動の団体とともに28人でオンライン参加しました。

⑤2022ピースアクションinヒロシマ・ナガサキに職員9人がオンライン参加しました。事前学習「きのこ雲の下で何が起きていたか」上映会、当日の「被爆体験伝承講話」から、核兵器廃絶と平和への想いを考えました。原水爆禁止世界大会・国民平和大行進に財政活動や学習で参加しました。原水禁平和スタンディングに地域の団体とともに33人が参加し、核兵器禁止条約の批准を日本政府に求めました。

⑥王子駅前なんでも相談会に医師、看護師、MSW、事務、組合員が参加しました。今年度は相談が125件あり、組織部内に設置した「いのちの電話」相談は49件でした。相談事例検討会



なんでも相談会で話す女性



原水禁・ピースアクション代表団学習会



西新井本町 横川裕子(72)
ウクライナへのロシアの侵略許せません。戦争反対の声を広げましょう。

神谷 宮本房江

荒川ラインウォーキング
初参加。新緑で癒され、9キロコース楽しかったです。

町屋 為我井雅子

ウクライナの子どもたちが笑顔をとり返せる日がくるよう毎日願っています。

豊島 横山きよ(74)

花粉症予防でコロナ対策同様マスクが手離せません。

江北 田沢きよみ(70)

100才の組員とご縁ができ、お話しできました。お会いできて良かったです。

王子 若林ふさ子(70)

不安な時代に内容が豊富で読みやすい。相手に伝わる言葉を大切にしたいです。

西尾久 鶴見一夫(75)

銭湯の変わり風呂がとても楽しみです。

田端 山辺カツエ

ねばり強い運動で浮間にコミュニティ運行されることになりよかったですね。

堀之内 小山慶子(74)

紅白の梅のほのかな香りの下でパンパー仲間とおしゃべりに花が咲きました。

豊島 中西洋子

東京大空襲を体験した97歳の母がウクライナ侵略の報道に「プーチン嫌い」。南千住 渋谷陽子(64)
汐入公園の桜がもうすぐ咲きます。

王子 井伊幸子(72)

子どもが泣き叫ぶ姿に、怒り、悲しみ…戦争反対。

宮城 長井勉

バスの話や、健診で救われた話、花粉対策の料理など、ためになります。

浮間 佐藤章子(72)

コミュニティに乗り、弁当を買って浮間公園で食べる。早くやってみたいですよ。

西尾久 大塚一恵(68)

レシ袋「大丈夫です」に違和感。要・不要はハッキリ伝えるべきだと思います。

豊島 高橋雄吉(71)

手術後、鹿浜通所リハビリでお世話になり一年余り。

伊興 日本章子

紅梅、白梅、河津桜、コブシ。春のリレー続きます。

王子 中澤政子(78)

ロシアがウクライナへの圧力を強めそう。早く平和に暮らせますように。

東日暮里 渡邊喜久子(67)

年数回、夫の故郷・宮崎へ。実家は更地ですが、過疎も進み売却は難しいです。

岩淵町 佐藤真美(64)

暖かくなり2匹のカメの動きが活発になりました。舎人 湯川ちづ子
待ちに待った舎人公園の河津桜が満開になりそう。

豊島 菅原裕一
暖かくなったのでジョギング回数を増やします。

町屋 中島喜美子(82)

沈丁花の花が終わり今は雪柳が咲き始めました。一週間は見頃でしょうか。

王子 伊藤あや子(73)

穏やかな日が続きますよ。68年前もつらいことで被災者が出たんですね。

伊興 岩田春江(70)

最近、漢字の一部分がわからないことが多く、書くたびに考えてしまいます。

豊島 石井直(73)

歳以上はなるべく走らないでと連絡がありました。

岸町 榎原一栄(91)

どんなことがあっても、人が人を殺す戦争は反対。

鹿浜 梅原恭子(75)

読みごたえのある記事が多かったです。隣人にも読んでもらおうと思います。

豊島 吉川とよ子(72)

孫が保育園を卒園、今月から小学校入学です。大きくなったなと思いました。

舎人 川崎美恵子(78)

今回は息子夫婦とお墓参りができました。とても心和むひとときでした。

志茂 神田節子(71)

田舎からふきのとうが届け、ふきみそにして春の香りと味を楽しんでいます。

新田 関根幸一(71)

最近毎日眠いです。長く寝ているのですが…。豊島 藤澤留美子(69)
浅草の東洋館と演芸場で大いに笑って免疫アップ。

外来診療体制のご案内

4月1日現在の体制です(詳しくは、病院・診療所にお問い合わせください) 色文字＝女性医師

王子生協病院			北区豊島3-4-15 ☎3912-2201			診療予約専用電話 03-3912-7248 健康診断予約専用電話 03-3912-5181			予防接種は、病院・各診療所にお問い合わせ下さい						
			月		火		水		木		金		土		
			午 前	午 後	午 前	午 後	夜 間	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	夜 間	午 前
内 科	予 約		菅野	池森 【腎・高血圧】 (2:30～) 内科医師【も の忘れ外来】	今泉 藤沼 大野【心】	森岡 平山陽 大野【心】	高島	松本 宮島【呼】 春田	森岡 神田 渡邊郁	森岡 高橋【呼】 笹島【循】	村山(1・3・4・5週) 内科医師【も の忘れ外来】	内科医師 岸本 密山	密山		今泉(1・2・3・5週) 藤沼(1・3・5週) 高島(1・3・5週)
	一 般		松本	森岡 櫻井	岸本	青柴	今泉 神田(1・3週) 青柴(2・4週)	親川【循】 王 武田	宮島	近藤 野島	松本 高橋【呼】	星	森岡 鍋島	森岡 密山	森岡(1・3・5週) 小池(1・3・5週) 岸本(2・4週)
家庭医診療科			上野		打矢				佐野康	佐藤寿		平山陽			
小児 乳児 健診 予防接種			平山美 診察	平山美 診察・予防接種 乳健	平山美 診察	平山美 診察・予防接種 乳健		名知 診察・乳健	名知 診察・予防接種 乳健	平山美 診察 食物経口負荷 試験(予約)	平山美 (アレルギー 予約)	平山美 診察	平山美 診察・予防接種 乳健		越智 診察・予防接種
緩和外来(予約)				○	○入院相談					○入院相談	○		○入院相談		
整形外科			西野	宮本(予約)	岡田			谷口	篠田	平井		茂呂			整形外科医師
その他			上田(皮膚科)		内田(泌尿器科)				井川(皮膚科)			田中(泌尿器科)		松田(皮膚科)	
[受付時間]午前 8：45～11：30／午後 1：45～4：00／夜間 5：15～7：30															
【呼】=呼吸器内科、【循】=循環器内科															
救急・急患の方は随時受け付けています															

(受付時間)午前8:45～11:30/午後1:45～4:00/夜間5:15～7:30 【呼】＝呼吸器内科、【循】＝循環器内科 救急・急患の方は随時受け付けています。

生協北診療所		北区東十条2-8-5 ☎3913-5271		透析センター 3912-9334		
		月	火	水	木	金
午前	大場 順取 (2・4週) 皮膚科医 順取 (1・3週) 胃内視鏡	大場 秋山	秋山	大場 整形外科 渡会	伊藤 (予約) 秋山 大場	秋山 (2・3・4週) 大場 順取 (1・3週) 胃内視鏡
	秋山	大場	秋山		秋山	秋山
午後						
夜間						

(受付時間)午前8:30～11:30、午後1:00～4:15、夜間4:45～7:00

鹿 浜 診 療 所		足立区新田2-4-15 ☎3912-8491					
	月	火	水	木	金	土	
午前	平山 櫻井	櫻井	平山 林	平山	林	午前 平山 (1・3・5週) 伊藤 (2・4週) 三浦(皮) 月2回	
午後			平山		神田		
〔受付時間〕午前 8 : 45 ~ 11 : 00、午後水 : 3 : 30 ~ 6 : 00、金 : 3 : 00 ~ 6 : 00、 〔発熱風邪症状外来〕11 : 00 ~ 12 : 00 (予約制) 皮膚科診療日はお問い合わせください							

(受付時間)午前8:45～11:00、午後水:3:30～6:00、金:3:00～6:00、(発熱風邪症状外来)11:00～12:00(予約制) 皮膚科診療日はお問い合わせください

月		火		水		木		金		土	
午前	渡邊(郁)	渡邊(郁)	渡邊(隆)(内・小)	渡邊(郁)	渡邊(郁)	渡邊(郁)	渡邊(郁)	渡邊(郁)	渡邊(郁)	渡邊(郁)(1・3・5週)	須田(小)(1・3・5週)
					中丸(内・小)	中丸(内・小)				中丸(内・小)(2・4週)	中丸(内・小)(2・4週)
午後		渡邊(郁)	(2:30～)				渡邊(郁)	渡邊(郁)	渡邊(郁)		
							(4:00～6:00)	高橋(内・小)	高橋(内・小)		
										(2:30～5:00)	
[受付時間] 午前 8:40～12:15、午後 2:10～6:00											

(受付時間)午前8:40～12:15、午後2:10～6:00

月		火		水		木		金		土	
午前	渡邊(隆) 丸山	丸山 日向		渡邊(隆) 日向		丸山 藤田 稲葉(予約)		杉山 日向		渡邊(隆)(1・3週) 丸山(2・4・5週) 日向(2・4・5週)	
午後	渡邊(隆) 丸山	丸山		日向				日向			
【受付時間】午前 8:40～12:00、午後 月・金 1:40～6:15、火・水 1:40～4:15											

(受付時間)午前8:40～12:00、午後月・金1:40～6:15、火・水1:40～4:15

職員募集

- 医師 ●看護師
- 介護職員 ●ケアマネジャー
- 病棟ケアワーカー ●事務

【詳しくは
お問い合わせください】

法人総務部代表電話
03-3927-8864

荒川生協診療所		荒川区荒川4-54-5 ☎3802-2601					
		月	火	水	木	金	土
午前	田邊	泉水(内・小) (予約) 伊沢 永井〔整形〕 (予約)	田邊(1・3・5週) 伊沢	伊沢	田邊 伊沢 武井〔整形〕 (予約)	田邊(1・3・5週) 古池(2・4週)	
午後	水谷〔整形〕 (予約)	伊沢 泉水	伊沢 桑野〔糖〕 (予約)		伊沢		
夜間					門松 (内・小)		

(受付時間)午前8:30～12:15 午後1:30～4:00 夜間5:00～7:00 (かぜ専用外来)月・土11:30～12:15 火・水・金15:30～16:00(予約制)

かせ専用外来)月・土11:30~12:15 火・水・金15:30~16:00(予約制)

生協浮間診療所
 北区浮間3-22-1 ☎3558-8361

	月	火	水	木	金	土
午前	藤沼 加藤	菊池 加藤	鍋島 松本	藤沼 正廣	藤沼 加藤	鍋島 正廣 加藤 (2・4週)
午後	鍋島 加藤	菊池 鍋島	鍋島 田中		佐野(康) 加藤	
夜間		大西 加藤			佐野(康) 正廣	

(受付時間)午前8:40～12:00、午後1:40～4:15、夜間5:40～7:45 (かぜ外来)午前11:00～12:10、午後2:00～4:00、夜間6:10～7:10(予約制)

【キャンセル料】午前11:00～12:10、午後2:00～4:00、夜間6:10～7:10(予約制)

汐 入 診 療 所 荒川区南千住8-10-3-101 ☎3807-2302

	月	火	水	木	金	土
午前	佐藤(寿)	佐藤(寿) 中島(整形)2・4週	佐藤(寿)	村山(予約) 高橋	門松(予約) 高橋(小)	佐藤(寿)(2・4週) 金山(1週) 佐野(正)(3週) 名知(小)(1・3週)
午後	郭	高橋	中丸	高橋(1・2・4週)	門松	
夜間				高橋(1・2・4週) 中丸(3週)		

(受付時間)午前9:00～12:00、午後2:00～4:30、夜間5:30～7:30

お知らせ

訪問診療につきましては、病院・診療所へお問い合わせください。

生協王子歯科		北区豊島3-19-3 ☎3927-9573					
		月	火	水	木	金	土
午 前	前田 竹田	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月
	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	竹田 望月	竹田 望月 (2・3週)	前田 竹田 望月	前田 竹田 望月	
夜 間			竹田 (1・4週)			前田 (1・3・4週)	
夜間診療については事前にお問い合わせ下さい							

(予約時間)午前9:00～12:00 午後1:30～4:30 夜間7:30まで 週によって担当医が変わります。詳細は受付まで

歯ブラサ販売 「特売日」

組合員の方、組合員証の提示をお願いします。価格は窓口にお問い合わせ下さい

4月 8日、13日、18日、28日
5月 6日、9日、18日、28日

王子生協病院・在宅医療部	北区豊島3-4-15 ☎ 3912-6181
訪問看護ステーションほくと	北区豊島3-19-3 ☎ 5902-7156
ヘルパーステーションのぞみ	北区豊島3-7-2 ☎ 5390-5998
地域ケアセンターわかば	北区豊島3-19-3 ☎ 5959-7875
訪問看護ステーションほくと	北区中十条2-7-13 ☎ 5963-7720
サ テ ラ イ ト 十 条	北区東十条2-8-5 ☎ 5390-6024
居宅介護支援事業所ハビネス	北区西ヶ原2-24-8リッシェル飛鳥山1・2階 ☎ 5980-6222
認知症対応型共同生活介護	荒川区荒川4-54-5 ☎ 3803-1179
グループホームほくとひまわりの家	荒川区荒川4-54-5 ☎ 3802-2810
訪問看護ステーションほくと	荒川区荒川4-54-5 ☎ 3803-1179
サ テ ラ イ ト 虹	荒川区荒川4-54-5 ☎ 5850-3585
荒川生協診療所通所リハビリ(デイケア)	荒川区荒川4-54-5 ☎ 3805-8388
あらかわ虹の里デイサービス	荒川区西尾久8-13-9 ☎ 5855-7761
ヘルパーステーション虹	荒川区西尾久8-13-9 ☎ 5855-7801
地域ケアセンターはけた	荒川区西尾久8-13-9 ☎ 5855-7447
訪問看護ステーションほくと	足立区新田3-26-1-101 ☎ 5390-8451
サ テ ラ イ ト た ん ぽ ぽ	足立区新田2-4-15 ☎ 5902-7179
鹿浜診療所通所リハビリ	